



# 神奈川東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2017-2018年度 第40週報 No. 2023 2018年(平成30年) 5月25日 第2023回 例会記録 6月1日発行

### 本日〈6月1日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」「友達になろう」
- ◆ 献 立 中華御膳
- ◆ 卓 話 「京浜工業地帯の生みの親 浅野総一郎」  
鶴見みどころガイドの会 代表 横須賀剛一 様  
(紹介者 古澤 一憲 会員)

<< 本日のBGM >>  
アルバム「PLAYING FOR CHANGE」より



PHOTO クラブ会報委員会

**司 会** 金森 欣一 副幹事

**ビジター紹介** 横浜北RC 森田 俣弘 様

**点 鐘** 矢野 修二 会長

**誕生日祝** 赤堀 和人 会員 (5月30日)

**斉 唱**  
「それでこそロータリー」「友達になろう」  
ソングリーダー：赤堀 和人 会員

**四つのテスト** 赤堀 和人 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)

**ゲスト紹介** 矢島 昌郎 様 (ゲストスピーカー)  
高部 夢宙 様 (ゲスト同行者)



2017-2018年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー



ロータリー：  
変化をもたらす

第2590地区 ガバナー 湯川 孝則

会 長	矢野 修二	会 計	白井 康夫
会長エレクト	天野 公史	副 会 計	飯田 泰之
副 会 長	田中 龍太郎	S A A	茂木 知子
副 会 長	河野 明光	副 S A A	加藤 仁昭
幹 事	白鳥 厚夫	副 S A A	森 永 健
副 幹 事	金森 欣一	クラブ会報	長井 章

**例会日** 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)  
**例会場** ホテルキャメロットジャパン  
**URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>  
**E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

**事務局** ホテルキャメロットジャパン内  
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555  
**創立記念日** 昭和51年5月29日

**結婚記念日祝**

吉田 隆男 会員 (5月31日)

**会長報告**

矢野 修二 会長

- ・5月度定例理事会報告
- ・R I 事務局より、伊東英紀会員にMPHFの認証ピンが届いておりますので贈呈します。

**幹事報告**

白鳥 厚夫 幹事

- ・『第48回地区研修協議会の案内』が届いておりますので回覧します。
- ・救命講習の参加締め切りが本日となっております。参加を希望される方は事務局まで申し出下さい。

◎例会変更のお知らせ

\*横浜北ロータリークラブ

6月12日(火) 移動例会

**出席報告**

山田 正憲 出席委員長

会員総数	51名	(33+18)名
出席会員数	33名	(22+11)名
出席率	75.00%	
ゲスト	2名	ビジター 1名
前回補正後	91.49%	前々回補正後 84.44%

**スマイルボックス**

茂木 知子 SAA

横浜北RC 森田俣弘様 本日はお世話になります。

赤堀和人君 誕生祝い、ありがとうございます。

吉田隆男君 ①結婚祝い、ありがとうございました。②月山さん、大変お世話になりました。

矢野修二君 矢島昌郎様、高部夢宙様、本日の卓話、よろしくお願い致します。

月山 勇君 先日の蓼科会では、参加の皆様、お疲れ様でした。最高の天気恵まれ、楽しい三日間を過ごすことが出来ました。青柳さんの段取りの良さに感謝です。

伊東英紀君 久しぶりです。

白鳥厚夫君 ①矢島昌郎様、本日の卓話、楽しみです。②ニコニコ協力、よろしくお願い致します。

山本芳弘君 温泉同好会立ち上げました。出席義務はありませんが、ご予約のつく方は是非お願い致します。

天野公史君 蓼科会参加の皆様、お世話になりました。素晴らしい天気と景色で最高でした。食事も美味かったですね！

古澤一憲君 高部夢宙さん、ようこそお越し頂きました。矢島昌郎さん、本日の卓話、よろしくお願い致します。楽しみにしていました。

茂木知子さん ~冗談で済まされなくなってきた~川柳会功労者K氏の川柳は未だに掲載されていません。川柳会有志がこの事態を憂慮して、打開策を考えています。1. 贋作→掲載された川柳の作者の会員にK氏の川柳の代作を依頼する 2. 川柳会会員の川柳は全て送らずK氏の川柳のみを掲載されるまで晩秋先生に送り付ける 3. 裏金作戦 4. K氏に国語を再教育する 他の方法がある場合はご教示を・・・。

5月25日	11件	32,000円
本年度累計		1,666,072円

**ののじ株式会社の取り組みについて**

ののじ株式会社 顧問 矢島 昌郎 様  
(紹介者 古澤 一憲 会員)



### 耳かき

### 笑顔ふやす仕事

ののじ®  
にここに、うふふが、いっぱい。

私たちの仕事は、毎日の暮らしに、ひとつでも多くの笑顔ふやすことです。それは、今までなかった「心地よさ」「やわわく」を感じてもらうこと。「あっ、すごい!」「えっ、カンタン!」「おっ、なるほど!」の声が届きたくて、独自の発想とアイデアで、ちょっと個性的な手道具をつくって、お届けしています。気がつくど、手に取った方が、そしてご家族が、みんなが笑顔になっている。私たち「ののじ」は、そんな笑顔ふやす仕事に全力で取り組んでいます。

### 学校給食・業務用調理器具①

### 知財見える化発表会

知財見える化プロシナゴ トリムム発表

### 特許

知的財産権

- 名称「ののじ」  
特許登録第 5841692 号
- 器具及び使用方法  
特許登録 第 5891338 号
- 刃部  
特許登録 第 1534729 号
- リング部  
特許登録 第 470553 号
- 握りかけ部  
特許登録 第 1407719 号

⑥ さらさらチップ  
特許登録 第 5919166 号

「ののじ」の特許情報  
■特許登録 第 5841692 号  
■特許登録 第 5891338 号  
■特許登録 第 1534729 号  
■特許登録 第 470553 号  
■特許登録 第 1407719 号

知財見える化プロシナゴ トリムム発表

### 212キッチンストア

### メディア

### 主婦の友社

単行本 ムック本

雑誌「主婦の友」の特集記事「ののじ」の特集記事

## ロータリーニュース

### RI 会長からのメッセージ

2018年5月

ロータリーは、規模が大きく非常に複雑な組織です。この記事が発行される現時点において、世界のほぼすべての国に35,633のクラブがあり、120万人の会員がいます。ロータリーのプログラムには、何十万という人が参加しています。ローターアクト、インターアクト、青少年交換、RYLA、ロータリー地域社会共同隊、ロータリー平和センターなどのプログラムのほか、国、地区、地域レベルのプログラムやプロジェクト、財団が支援するプロジェクトもあります。血液・食糧バンク、学校衛生からポリオ撲滅まで、毎年、ロータリーの名を冠する数え切れないほどのプロジェクトが遂行されています。初のロータリークラブが創設されてから113年が経過した今、ロータリーの奉仕活動は世界中に広がっています。

日々の奉仕活動は、地域、国、クラブによって大きく異なり、各クラブに独自の歴史、優先項目、アイデンティティがあります。また、ロータリアンの個性や一人ひとりの奉仕に対する目的意識も同じではありません。地域ごとの独自の方法が尊重されるロータリーにおいて、会員やクラブがそれぞれに最も適した方法で奉仕することは問題ではありません。

ただし、多様性は私たちの強みであるものの、組織としてのアイデンティティが課題となります。ロータリーという名称を知っている人は多くても、クラブの活動内容、その構成、存在理由を理解している人はごく一部です。ロータリー会員であっても、ロータリーという組織、全体の目標、プログラムの内容や範囲を十分に理解していない人が大勢います。この課題は、効果的な奉仕を実施し、会員増強に取り組み、パートナーシップを強化していく上で、重要な意味をもっています。

組織全体でこの問題を解決するため、ロータリーのビジュアルとブランドを強化するツールを数年前に導入しました。今日、私たちはこれらのツールを使用しながら、「世界を変える行動人」という新しいグローバル広告キャンペーンを実施しています。このキャンペーンは、補助金を利用して各地で変化をもたらしているロータリーの活動を紹介するものです。昨年6月、国際ロータリー理事会は、私たちの活動の多様性を結ぶ一つの目的と、ロータリーのアイデンティティを反映した新しいビジョン声明を採用しました。

「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」

どこに住んでいても、何語を話していても、どんな活動をしていようとも、私たちのビジョンは同じです。世界をより良い場所にできると信じ、そのために私たちは活動しています。ロータリーは、世界をより良くする機会を与えてくれます。「ロータリー：変化をもたらす」のテーマを通じて、一つになって行動を起こしましょう。

2018年6月

この60年、テーマを選ぶことは次期会長にとっての榮譽であり時として課題となってきました。過去のテーマを振り返ることは、歴代の会長が抱いた考えやビジョンを知る小さな窓を開くようなもの。窓を開けば、彼らが見たロータリー、彼らが考えた世界におけるロータリーの場所、そして、彼らが望んだロータリーの達成事項が見えてきます。テーマを選ぶ順番が巡ってきた時、私の心に躊躇はなく、「ロータリー：変化をもたらす」が2017-18年度テーマになるだろうと即座に思いました。私にとってこの短いフレーズは、単に私たちが行っているのではなく、切望することです。変化をもたらすことを欲し、支援し、インパクトを生み、世界をほんの少しよくしていこうと努めているのです。

この2年間、そのような努力の数々を目にしてきました。昨年、山火事で甚大な被害が出たカリフォルニアでは、すべてを失った人たちに「変化をもたらす」ロータリアンに会いました。グアテマラでは、簡素なストーブを提供したことで、それまで焚火で調理していた女性たちの生活に大きな変化が生じたことを学びました。これで彼女たちは、煙に巻かれながら調理したり、薪拾いに多くの時間をかけたりすることなく、ストーブを利用して小さな事業を始めることもできました。イスラエルでは、ロータリーが支援している高気圧酸素治療センターを訪れ、脳損傷や脳梗塞の患者が健康で生産的な生活を送れるよう治療を受ける現場を見ました。その他にも、ロータリアンは世界各地の地域社会で、難民の新たな生活を支援し、子どもたちへの予防接種を行い、安全な血液供給を支え、若者への教育・生活支援を通じて変化をもたらしています。

また私は、世界中でロータリアンの植樹活動に参加できました。こうして本誌が発行される間にも、植えられた樹木の数は上昇しているでしょう。とはいえ、喜びとともに私に言えることは、ロータリアン一人につき1本に値する120万本以上の植樹は既に完了しているということです。さらに、ロータリアンは世界中で、ポリオ撲滅のためのアドボカシー、ファンドレイジング、支援活動を続けています。野生型ポリオウイルスによる発症は昨年22件に留まり、わずか2カ国に抑えることができました。この数は間もなくゼロになり、撲滅に向けた新たな局面を迎えることになることを確信しています。その局面とは、全世界ポリオフリー認定に向けた、最後の発症から3年を経過するまでのカウントダウンです。

これで私とジュリエットは、訪問した多くの場所、新たな友人、この目で見た奉仕など、温かい思い出を胸にオーストラリアへと帰ることとなります。「ロータリー：変化をもたらす」のテーマを通じて、皆さまが実現された偉大な奉仕の数々に、心より感謝申し上げます。

イアン H.S. ライズリー

2017-18 年度会長

### 次回〈6月8日〉の予定

テーマ 「会員増強とクラブ活性化

(法人会員の導入について)」

国際ロータリー2590地区 パストガバナー 高良 明 様  
(紹介者 佐藤 勝彦 会員)